

溝口善兵衛島根県知事
森崎禎璋島根県連会長

全県に拡大する石見銀山の波及効果

森崎 昨年七月、石見銀山遺跡が世界遺産に登録されました。連日たくさんのお客さんが訪れ、地元の観光客だけでなく、島根県全体に波及効果が出ています。とくに、旅館関係は多くのお客さんで賑わっています。

溝口 石見銀山遺跡の世界遺産登録以降、玉造

温泉や松江しんじ湖温泉では二割近くお客さんが増えているようです。また、県の東部だけでなく、西部でも好影響を受けていると聞いています。こんなにすぐに世界遺産登録の効果が表れたことに驚きましたが、この好機を上手に活用することが大事なことだと思います。

春には、石見銀山の最大級間歩である「大久保間歩」(注：石見銀山では明治以前は坑道のことを間歩と呼んでいました)が一般公開される予定です。また、出土遺物の展示やガイダンスを行う「石見銀山世界遺産センター」の今秋のフルオープンを目指して、現在、準備が進められているところです。(注：現在、部分オープン)遺跡見学や町並み散策の前に、映像などから予備知識を得ただけのように工夫しています。

◆豊富な地域資源を活用して産業振興

森崎 就任されて一〇ヵ月になろうとしています。が、県内をくまなく回るなど、知事はこの間、精力的に活動されていますね。

溝口 知事就任の前後、一年弱ですが県内を歩いてみました。現場を見ないと各地の状況がよくわかりませんし、現場の人たちの話を聞くのが非常に参考になるからです。知事室にいて資

料を見ているだけでは、バランスの取れた見方ができません。

昨年は、商工会の青年部、女性部の四〇周年式典に出席させていただきました。多くの人の熱気に驚きました。商工会がいかに地域で大きな役割を果たされているのかがよくわかりました。

森崎 知事は就任時に、県の財政を立て直すためにも、地域振興を図るためにも、産業振興が第一とおっしゃっていました。産業振興には、企業誘致と地場産業振興があると思いますが、産業振興をどのように進めていきますか。

溝口 島根県にとって最も緊急性の高い課題は、財政の健全化を図ることと、県内で雇用が増えるように産業を振興することです。四月末の就任後、ただちに「改革推進会議」や「しまね産業活性化戦略会議」を設け、財政健全化や産業振興を進めるための大きな枠組みづくりに着手しました。

産業振興を進めるうえでの大きな柱の一つは、製造業を中心とするものづくり産業の振興です。また、島根県には観光、農業、漁業などのよい地域資源が各地にたくさんあります。高い技術力を持っている企業がたくさんあります。これらの地域資源を活用した産業の育成をもう一つの柱として、一生懸命取り組んでいきたいと考えています。

さらに、新たにソフト系のIT産業の振興を一つの柱に据えました。特に、新しいコンピュータプログラミング言語・Rubyの開発者が松江市に住んでおられるので、その優位性を活用して必要な人材育成を産学官で共同で行い、今後、Rubyを活用したソフト関連会社の設



溝口知事(左)と森崎会長

溝口島根県知事



立や誘致を実現したいと考えています。

県内企業の競争力を高めるためには、都会の人たちが好む商品をつくり、外国に輸出できる商品を開発していかねばなりません。さらに、優秀な技術、製品を持つている企業を県外から誘致し、県内の雇を増やしていくことも重要なことです。

米子から安来、東出雲、松江、斐川、出雲、雲南にかけて日本海側でも有数の産業集積地ができています。中には世界的な企業もあり、その下で技術を持った中堅・中小企業が育っています。県は進出企業の投資や雇用に対して、助成制度を設けています。計画ベースですが、昨年度は一六件、総額一二六億円の投資がありました。今年度は八件ですが、大きな投資がありましたので、投資額は二七〇億円に膨らんでいます。徐々にはありますが、全国的な景気回復に伴い県内の投資が増えています。

米子から安来、東出雲、松江、斐川、出雲、雲南にかけて日本海側でも有数の産業集積地ができています。中には世界的な企業もあり、その下で技術を持った中堅・中小企業が育っています。県は進出企業の投資や雇用に対して、助成制度を設けています。計画ベースですが、昨年度は一六件、総額一二六億円の投資がありました。今年度は八件ですが、大きな投資がありましたので、投資額は二七〇億円に膨らんでいます。徐々にはありますが、全国的な景気回復に伴い県内の投資が増えています。

◆課題である沿岸部の道路網整備を急ぐ

森崎

都市と地方の格差が叫ばれておりますが、

森崎禎璋島根県連会長



島根県が一番遅れているのは交通網だと思います。石見と出雲の一体感を持つためにも高速道路が必要で、安全と安心を確保

するための防災工事も重要です。商工会会員の二四・五％が建設業で、非常に厳しい環境にあります。産業振興を図るためには、交通網の整備が必要ではないでしょうか。

溝口 私も知事になる前から、島根県はどうして発展が遅れたのかいろいろ考えてみました。島根県は中央部に峻険な山があり、大きな川もあります。自然的条件のため、全国の道路ネットワークから隔離された感があります。モーターゼーションが進んでも、道路整備が遅れたため、発展に大きく影響を及ぼしたのではないのでしょうか。

全国の水準から見れば、道路の整備率は二〇年ぐらい遅れているという人もいます。とくに、幹線の高規格道路が海岸沿いに完成されていないというのが問題ですね。島根県は東西二四〇キロありますが、いたるところで分断されている状況で、災害があると代替道路がありません。国土交通省が策定した「道路整備中期計画」の中に山陰道も高規格道路の整備の対象として記載されていますので、その計画に基づき早期に完成するように努力します。

建設業の問題については、シビアな状況にあることは承知しています。一九九〇年代から二〇〇〇年初頭にかけて公共事業を増やしたのですが、交付税の減額などで地方の財政状況が悪くなり、公共事業を抑制せざるをえなくなってきたわけです。かつての三分の一の水準まで落ちているわけで、それだけ落ちると影響があるのは当然です。そのための対策を講じておりますが、難しい課題ではあります。企業の合併や連携、経営の多角化への支援や公共工事執行における

地元への配慮など、今後も県の重要な施策の一つとして対応していかなければならないと考えています。

◆全国一を誇る経営革新認定企業

森崎

商工会連合会は企業の新分野進出を支援するため、経営革新支援アドバイザーセンターを設置しています。平成十八年度に商工会が扱った経営革新認定企業は六二件に達しています。島根県は企業数が少ない県ですが、全国一の件数となりました。今年度の再チャレンジ支援事業でも、現在のところ、全国一の相談件数を誇っています。商工会では、中小企業の新分野進出や再チャレンジできる環境づくりを力を入れて取り組んでいます。

溝口 十八年度の県内の経営革新認定企業の承認件数の合計が一〇六件となり、初めて年間一〇〇件を超えました。経営革新支援アドバイザーの努力に、感謝申し上げます。

県では「しまね産業振興財団」が経営革新の支援をしています。今後も、商工会の活動と連携し、効果的に支援できるように一生懸命に取り組んでいきたいと思ひます。

また、中小企業の経営状況が悪化した際には、それを打開するため「中小企業再生支援協議会」が設けられております。そちらとも連携を図りながら効果的な支援をしてまいります。

二十年度には、中小企業や第三セクターなどの再生計画の策定を支援する「地域力再生機構」の創設が計画されています。再生機構とも協調し、商工会の皆様とも相談しながら、中小企業の再生に取り組んでいきたいと思ひます。